

HAND POWER PRESS

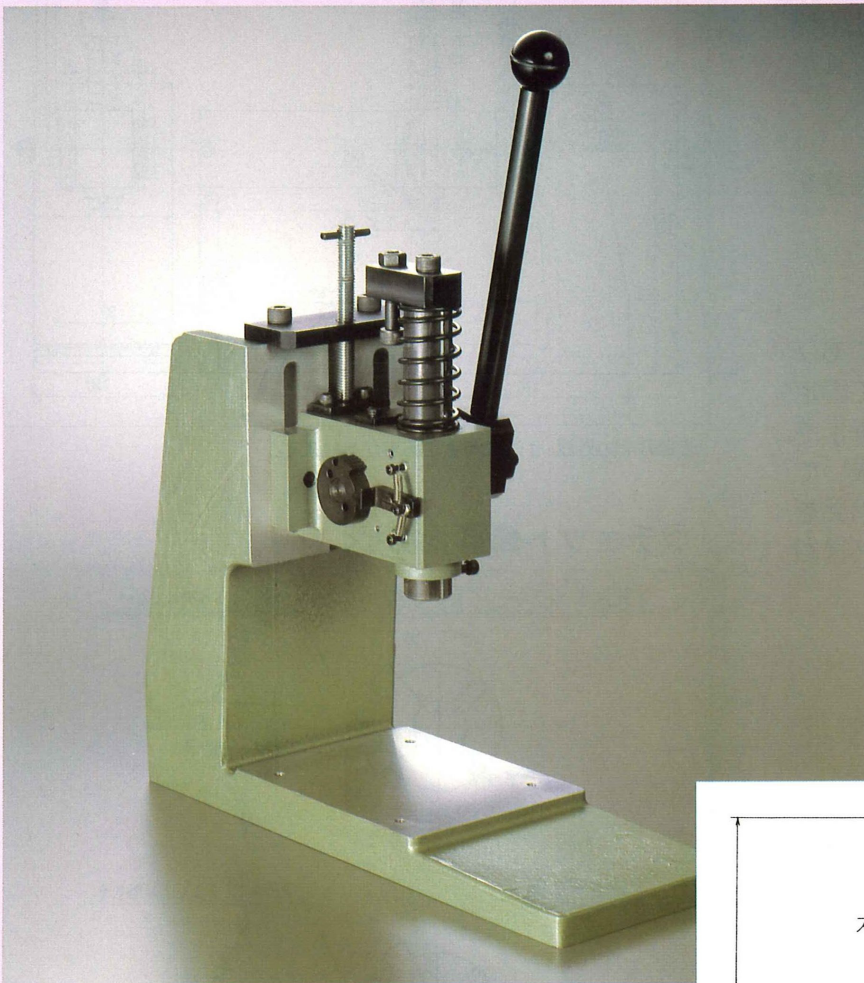
高度な技術と新鋭設備、行き届いた品質管理と標準作業による多品種生産、そして開発から量産まで……という、当社の力量が十分に発揮されている自信作です。

電子部品・組立治工具のトップメーカーのYKPシリーズ—第2弾。

ラック・
ピニオン
精密

ハンドプレス

YKP-150



超軽量の上、更に力強い。

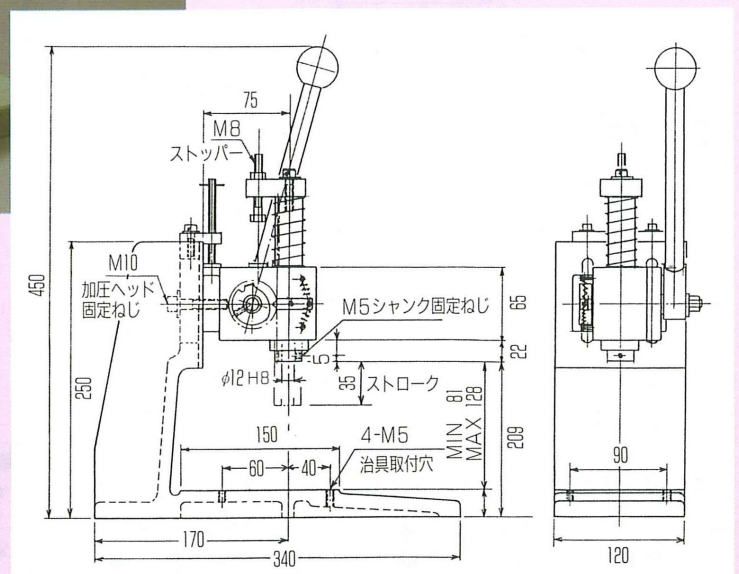
- YKP-200の姉妹品で、作動ハンドルを右手側にもってきました。
- 下死点では、ラチェット機構により、下まで完全に下げなければ、ハンドルが上に戻らない機構となっています。その為、圧力不足になるような事はありません。
- 加圧ヘッドが上下(45mm)できる構造になっています。

精確しかも、楽な作業性。

- 本体はアルミ製で、約5kgの超軽量のため、持ち運びが楽です。
- コンパクト、軽量でありながら、加圧力は約150kgもあります。

仕様

1. 加圧力……………約150kg
2. 加圧ヘッド移動量……………約45mm
3. 主軸ストローク……………35mm(MAX)
4. シャンク取付穴…………… $\phi 12_{HB}$ × 深さ25mm
5. 治工具取付穴……………4-M5(90巾×100奥行)
6. 材質……………アルミニウム製(本体)
7. 重量……………約5kg



改良のため外観、寸法は変更する事があります。

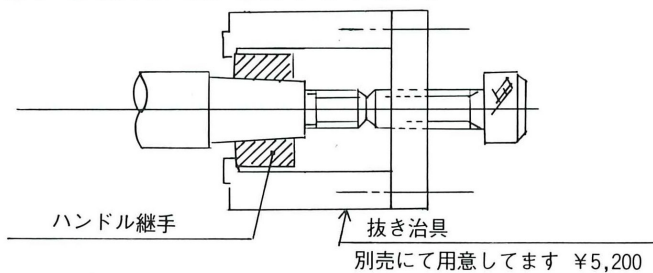
この度、当社製「精密ハンドプレス」をお買い上げ誠にありがとうございます。下記取扱要領により、YKP-150が十分に性能を発揮できますよう、お取扱ください。

ストロークの調整

1. 本ハンドプレスは、加圧ヘッドが上下に調節できる構造となっているので、大きいストロークの変更は、ヘッドを固定しているキャップボルト、2-M10を緩めて、上下調節用ツマミにより、オープンハイトを調節してください。尚、上下ストロークは50mmです。
2. ストローク微調整(下死点の調整)
両サイドの2-M5により、下死点の調整を行う。

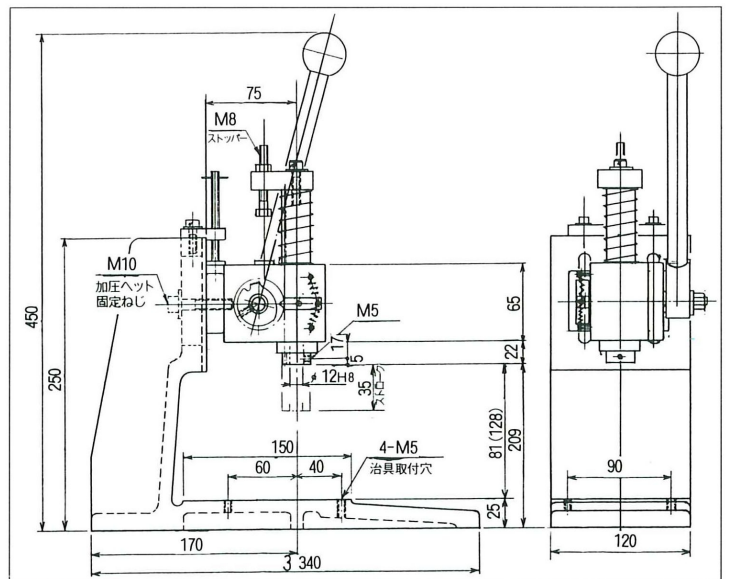
ハンドル静止位置の変更

工場出荷時は一番使い易い位置 15° で組込でありますが、このハンドル接続部はテーパにて固定しているので位置は無限の位置でセット出来ます。要領はハンドル継手を抜き治具にて抜いて抜いて仕様の位置でセットしてボルト締、尚抜き治具をセットする際は平ワッシャ及びM10ナット(逆ねじ)を取外してから行って下さい。



仕様

1. 加圧力……………約150kg
2. 上下移動量……………70mm
3. ボルスター……………120×150
4. 主軸ストローク……………35mm
5. シャンク径……………φ12H7、深さ：25
6. 塗装……………J10743半艶
7. 重量……………約5kg



改良のため外観、寸法は変更する事があります。

「ラチェット機構」説明図

